



洪水 地震 火事

A①外水(洪水)ハザードマップ

中央～東地区 〈統合版〉

帯広市HP

本ガイドを
ご確認ください



洪水キキクル

リアルタイムの
危険度をご確認
いただけます



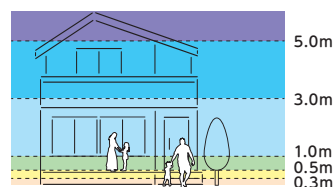
WEB版ハザードマップ

洪水の影響を詳細に
ご確認ください
Viewable in English



浸水想定区域凡例

- 5.0m以上の
浸水想定範囲
- 3.0m～5.0m未満の
浸水想定範囲
- 1.0m～3.0m未満の
浸水想定範囲
- 0.5m～1.0m未満の
浸水想定範囲
- 0.3m～0.5m未満の
浸水想定範囲
- 0.3m未満の
浸水想定範囲



各種凡例

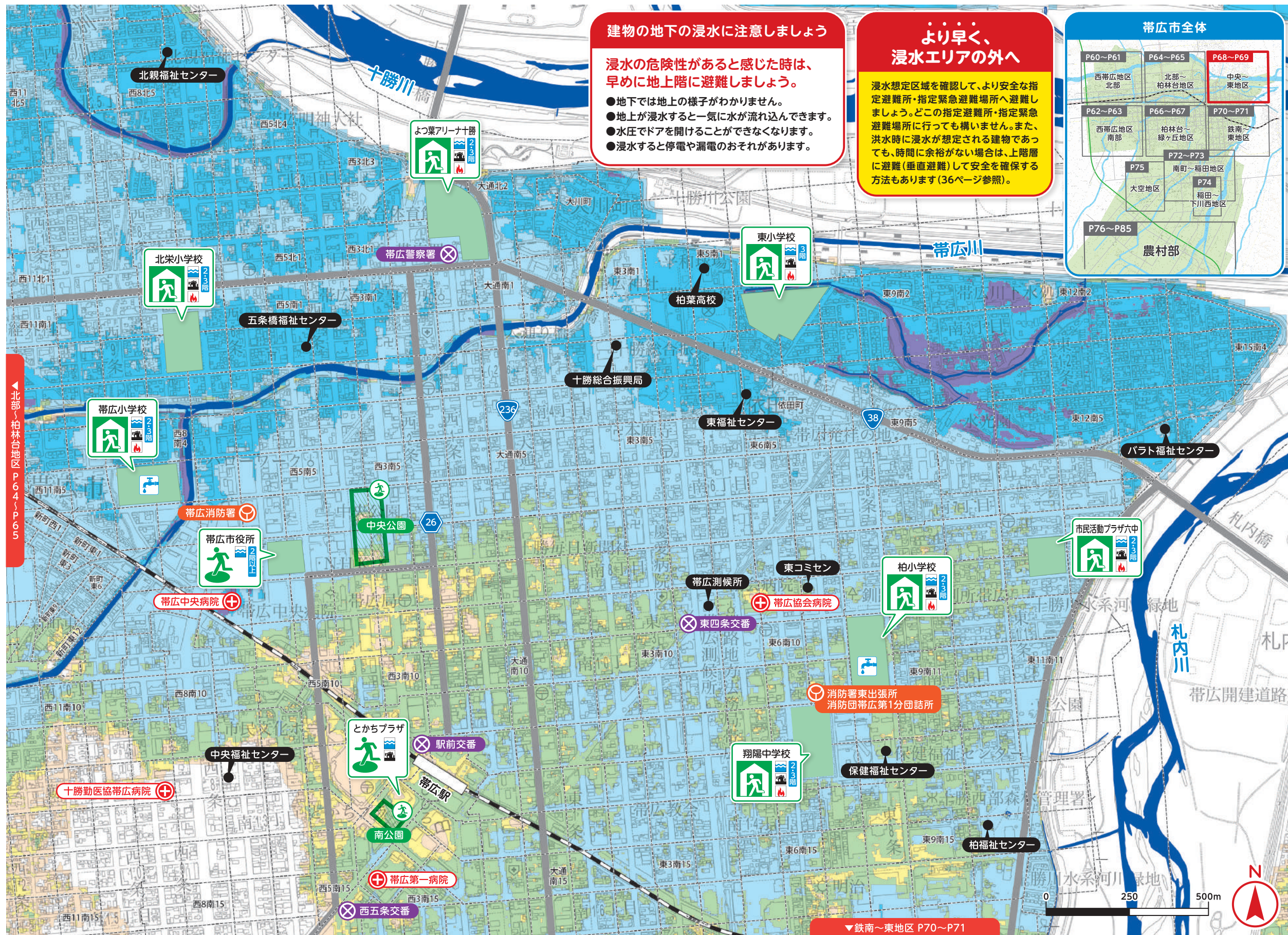
- 洪水・浸水 地震
- 大規模火災
- 指定避難所・指定緊急避難場所
- 指定緊急避難場所
- 警察署・交番
- 消防署・出張所
- 救急告示病院
- 災害用資器材備蓄倉庫
- 緊急貯水槽
- ヘリポート
- 広域避難場所

指定避難所

災害時、一時的に滞在する施設

指定緊急避難場所

災害時、危険から逃れるため緊急的に避難する施設・場所



建物の地下の浸水に注意しましょう

浸水の危険性を感じた時は、
早めに地上階に避難しましょう。

- 地下では地上の様子がわかりません。
- 地上が浸水すると一気に水が流れ込んできます。
- 水圧でドアを開けることができなくなります。
- 浸水すると停電や漏電のおそれがあります。

より早く、 浸水エリアの外へ

浸水想定区域を確認して、より安全な指定避難所・指定緊急避難場所へ避難しましょう。どこかの指定避難所・指定緊急避難場所に行っても構いません。また、洪水時に浸水が想定される建物であっても、時間に余裕がない場合は、上階層に避難(垂直避難)して安全を確保する方法もあります(36ページ参照)。

帯広市全体

